

低温工学・超電導学会

”小型核融合用 REBCO 導体とマグネットの実用化に関する調査研究会”

第 1 回会議開催のお知らせ

世界で活性化している高温超電導を用いた小型核融合に関する調査研究を 2023 年度から本会で開始します。つきましては、第 1 回の講演会、検討会を下記要領で開催しますので、奮ってご参加ください。
主査 山田穰(中部大)、幹事 植田 浩史(岡山大)

【日時】 6 月 2 日(金) 13:50-16:00 (春季低温工学・超電導学会研究発表会 最終日発表終了後)

【場所】 タワーホール船堀(東京都江戸川区)小ホール <https://www.towerhall.jp/facility/#hall>

【参加費】 無料

【事前申し込み】 Zoom 参加の場合は必須

【主催】 低温工学・超電導学会 小型核融合用 REBCO 導体とマグネットの実用化に関する調査研究会

【講演プログラム予定】

- 調査研究会の趣旨 山田 穰 中部大学
- 現在の核融合の状況と今後 各 20 分講演、質疑 5 分
 - 超伝導トカマク装置 JT-60SA のマグネットシステム及び冷却システムの進展
濱田 一弥 量子科学技術研究開発機構 那珂研究所
 - 核融合実験炉 ITER 超伝導マグネットの進展と高温超伝導化の課題
辺見 努 量子科学技術研究開発機構 那珂研究所
- 核融合戦略 ー新しい核融合開発方針ー 10 分講演
西村 新 核融合科学研究所
- 小型核融合 米国におけるマグネット開発最前線 10 分講演
野口 聡 北海道大学
- 全体討議 本会メンバーによる下記分野の発表(タイトルは後日発表)をもとに会場で議論
各講演 5 分、全体討議 20 分
テーマ: システム, 大型大電流マグネット, マグネット技術, 電流特性, ロス, 安定性, 線材導体, 電力供給など
(タイトルなど詳細は後日決定)

なお、Zoom 開催も行う予定ですが、ネット環境などの不都合で保証はできませんので、できるだけ現地参加ください。Zoom の URL は参加申し込みされた方に別途お伝えします。

【参加申し込み】 以下の Google Form から申し込みください。

<https://forms.gle/JANPHK4t3Rns5buZ9>

Google Form にアクセスできないなど問題がある場合は、以下の問い合わせ先にメールで、(1) お名前、(2)ご所属、(3) メールアドレス、(4) 電話番号をお知らせください。

申し込み締切: 5月22日(月)

【問い合わせ先】

調査研究会幹事

岡山大学 学術研究院 環境生命自然科学学域

植田 浩史 hiroshi.ueda@okayama-u.ac.jp

以上